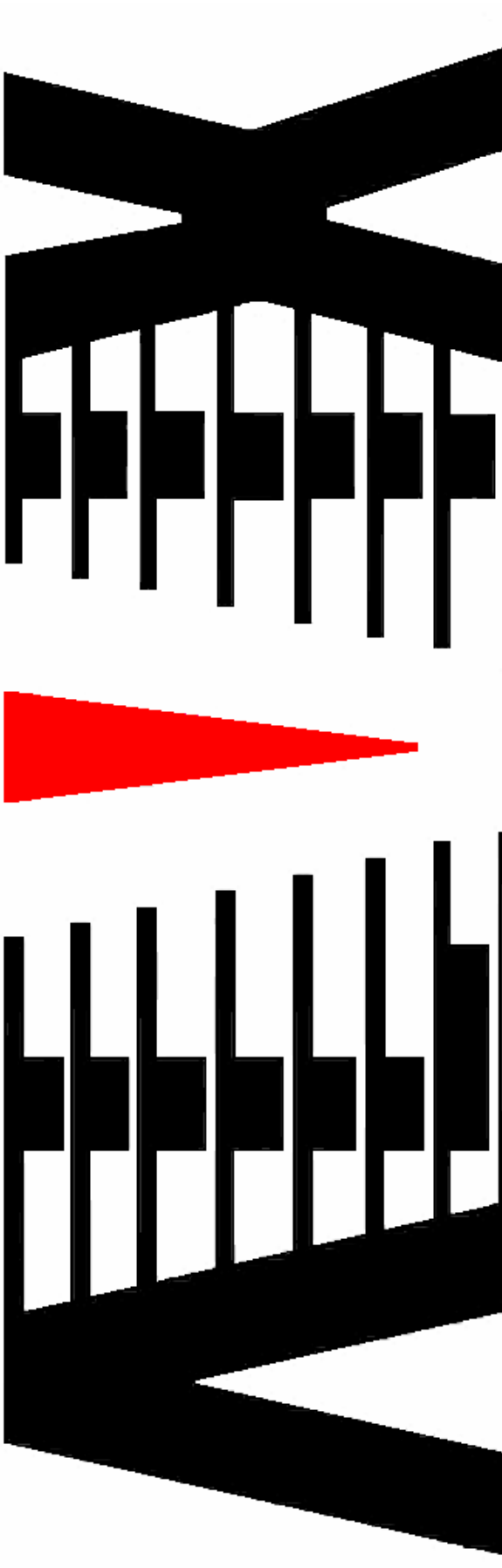
“アルビクス”マルチビューワ　CV-201

“ALVIX” Multi Viewer CV-201

取扱説明書

Ver. 2.2



御使用の前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為の指示に従って下さい。
もし、不明点が有れば販売店か弊社におたずね下さい。

目　次

注意事項　・・・・・　２
１．主な機能と特長　・・・・・　３
２．仕様　・・・・・　５
３．各部の名称と機能　・・・・・　６
４．設定方法　・・・・・１０
５．外部制御
　外部制御仕様　・・・・・１３
　コマンド一覧、書式　・・・・・１４
　コマンド詳細　・・・・・１５

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）

◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）

◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）

◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）

◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気の多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所
安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

１．主な機能と特長

１．１　CV-201 の機能

”アルビクス“ マルチビューワ　CV-201 は最大 20ch のビデオ信号を入力し、プラズマディスプレイや液晶プロジェクターの様な、高解像度モニタに分割表示する装置です。

１．２　CV-201 の特長

◇ 入力ビデオ信号は、動画検出機能付き倍速変換を行った後に、スケーリングしますので、なめらかな動画が得られます。
◇ NTSC または PAL は自動判別により変換します。
◇ 入力チャンネルごとにオーバースキャン／アンダースキャンの設定が可能です。
◇ 入力チャンネルごとに、独立した水平、垂直フィルターの有無を設定出来るので、最適な画像出力設定が出来ます。
◇ 入力チャンネルごとに枠色を 64 色の中から設定可能です。
◇ HDTV 1080i または 720p 出力を装備し、アナログ Y、Pb、Pr（３値同期）の出力が出来ます。
◇ DVI（デジタルのみ）出力装備。（XGA または WXGA 出力時のみ）
◇ 外部制御は、RS-232C を装備し、外部から制御できます。
◇ 3U ラックマウントでコンパクトです。
◇ 次ページは変換画像をプロジェクター等に出力したときの表示イメージです。

20 面（5X4）表示
出力モニタが 16:9 (HDTV, WXGA)

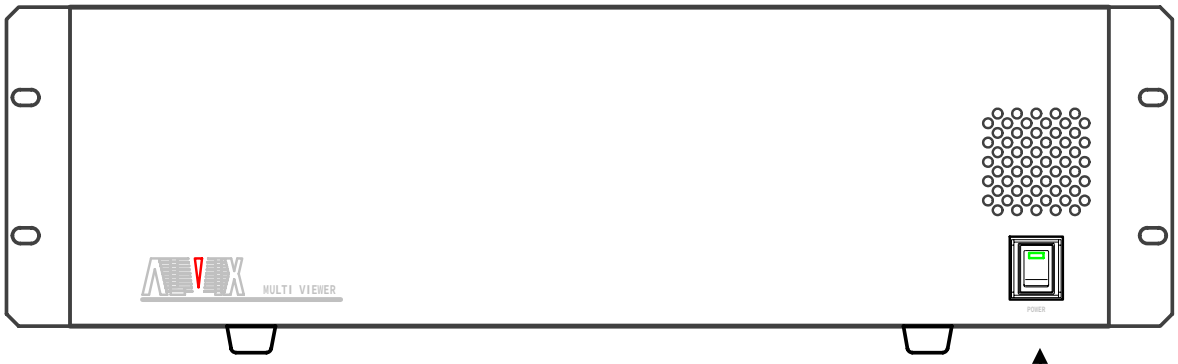
16 面（4X4）表示
出力モニタが 4:3 (XGA)

２．仕様

入力信号	
信号形式	NTSC または PAL　コンポジットアナログビデオ信号
コネクタ	高密度 D-sub15pin ×4 1 個の D-sub15pin にコンポジットビデオを 5 チャンネル入力します。 pin 配置は VGA コネクタの、 R→ch１、G→ch２、B→ch３ H→ch４、V→ch５ に対応しています。
信号数	20 系統
映像信号レベル	1.0Vp-p　75Ω
ループスルー	無し
出力信号	
出力解像度	1024 ×　768p　（XGA） 1364 ×　768p　（WXGA） 1280 ×　720p　（HDTV　720p） 1920 × 1080i　（HDTV　1080i）
HDTV 出力	
Y，Pb，Pr コネクタ	RCA ピンジャック ×３（Y，Pb，Pr） HDTV 出力時に使用します。 ３値同期信号は、Y，Pb，Pr に付加されています。 ※XGA または、WXGA 出力時は使用しないでください。
Y，Pb，Pr 信号レベル	Y：1.0Vp-p　75Ω 映像 0.7Vp-p　３値同期信号は、±0.3V Pb／Pr：0.7Vp-p　75Ω 映像 0.7Vp-p　３値同期信号は、±0.3V
XGA または、WXGA 出力	
R，G，Bコネクタ	高密度 D-sub15pin×１（R,G,B,H,V） XGA または、WXGA 出力時に使用します。 ※HDTV 出力時は使用しないでください。
アナログR，G，B 信号レベル	R／G／B：0.7Vp-p　75Ω 同期信号：TTL レベル（負極性）
DVI コネクタ	DVI-I ×１（デジタル出力のみ） XGA または、WXGA 出力時に使用します。 ※HDTV 出力時は出力されません。
電源電圧	AC 100～240V 内部自動切換え（50 / 60 Hz）
外形寸法	W430　×　H132　×　D364　mm ３Uラックマウントサイズ（突起を含まず）
重　　量	10.1 kg
消費電力	約 81 VA

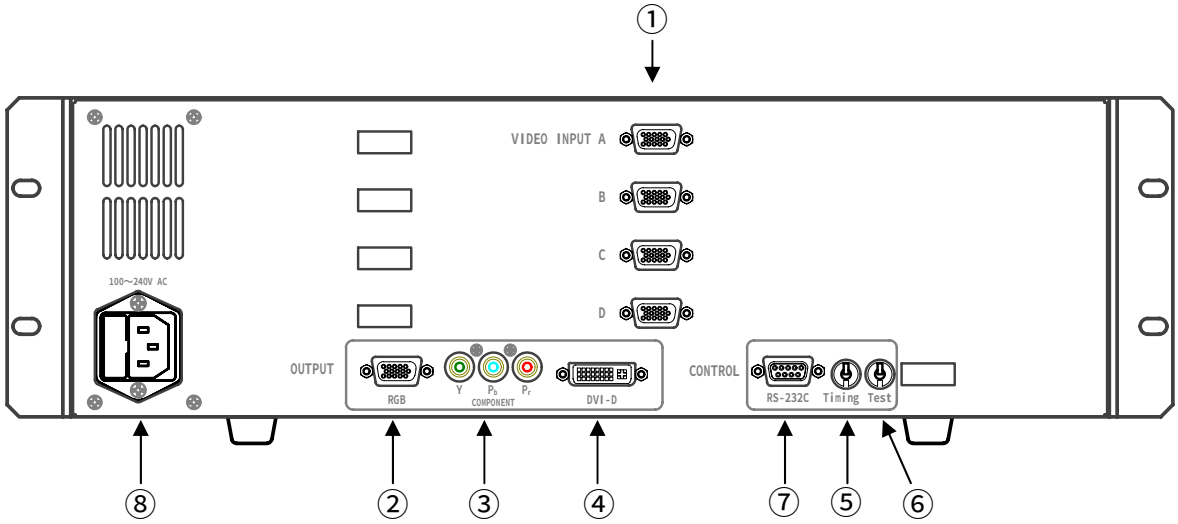
３．各部の名称と機能

＜フロントパネルの機能＞



① POWER スイッチ
・電源ユニットの電源スイッチです

＜リアパネルの機能＞



① 映像入力（D-Sub15pin）コネクタ
・コンポジットビデオ入力コネクタです。

コネクタピンアサイン

Pin	Name	Pin	Name	Pin	Name
1	Ch1ビデオ入力	6	ch1 GND	11	No Connection
2	Ch2ビデオ入力	7	ch2 GND	12	No Connection
3	Ch3ビデオ入力	8	ch3 GND	13	ch4ビデオ入力
4	No Connection	9	No Connection	14	ch5ビデオ入力
5	GND	10	ch4･ch5GND	15	No Connection

１個の D-Sub15pin にコンポジットビデオを５チャンネル入力します。
D-Sub15pin のコネクタの pin 配置は、
VGA コネクタのR（1Pin）が ch1、G（2Pin）が ch2、B（3Pin）が ch3、
H（13Pin）が ch4、V（14Pin）が ch5 に対応しています。

② RGB 出力（D-Sub15pin）コネクタ
- RGB アナログ出力コネクタです。
- HDTV 出力時は使用しないでください。

コネクタピンアサインは VGA コネクタと同じ

Pin	Name	Pin	Name	Pin	Name
1	RED 出力	6	RED GND	11	No Connection
2	GREEN 出力	7	GREEN GND	12	No Connection
3	BLUE 出力	8	BLUE GND	13	HSYNC 出力
4	No Connection	9	No Connection	14	VSYNC 出力
5	GND	10	GND	15	No Connection

③ Y,Pb,Pr 出力（RCA ピンジャック）コネクタ
・Y,Pb,Pr アナログ出力コネクタです。

④ DVI 出力コネクタ
・DVI 出力コネクタです。

コネクタピンアサイン

Pin	Name	Pin	Name	Pin	Name
1	TMDS Data2-	9	TMDS Data1-	17	TMDS Data0-
2	TMDS Data2+	10	TMDS Data2+	18	TMDSData0+
3	TMDS Data2 Shield	11	TMDS Data1 Shield	19	TMDS Data0Shield
4	No Connection	12	No Connection	20	No Connection
5	No Connection	13	No Connection	21	No Connection
6	No Connection	14	+5 V Power	22	TMDS Clock Shield
7	No Connection	15	Ground (for +5 V)	23	TMDS Clock +
8	No Connection	16	No Connection	24	TMDS Clock -

⑤. TIMING スイッチ
・出力画面構成・出力タイミング選択スイッチです。
(各対応表は、次ページ参照)

⑥. Test Pattern スイッチ
・Test Pattern 等の動作状態選択スイッチです。
出力画面構成・出力タイミングは変わりません。
(各対応表は、次ページ参照)

⑦ RS-232C コネクタ
・外部制御用コネクタです。(コネクタピンアサインは P.14 参照)

⑧ AC INPUT
・AC 入力(3P インレット)です。

TIMING 対応表

MODE	出力タイミング	画面構成
0	1024× 768（XGA）	9 面　3×3
1	1024× 768（XGA）	9 面　3×3　※縮小表示
2	1024× 768（XGA）	16 面　4×4
3	1024× 768（XGA）	16 面　4×4　※縮小表示
4	1364× 768（WXGA）	12 面　4×3
5	1364× 768（WXGA）	12 面　4×3　※縮小表示
6	1364× 768（WXGA）	20 面　5×4
7	1364× 768（WXGA）	20 面　5×4　※縮小表示
8	1280× 720（HDTV720p）	12 面　4×3
9	1280× 720（HDTV720p）	12 面　4×3　※縮小表示
A	1280× 720（HDTV720p）	20 面　5×4
B	1280× 720（HDTV720p）	20 面　5×4　※縮小表示
C	1920×1080（HDTV1080i）	12 面　4×3
D	1920×1080（HDTV1080i）	12 面　4×3　※縮小表示
E	1920×1080（HDTV1080i）	20 面　5×4
F	1920×1080（HDTV1080i）	20 面　5×4　※縮小表示

※　水平解像度の約 90%、垂直解像度の約 90%に縮小表示されます。
　　出力するモニタがＴＶ等オーバースキャン表示となっている場合に使用してください。

Test Pattern 対応表

Pattern	動作状態	備　　考
0	通常使用状態	通常使用時は、必ず“０”としてください。
1	ホワイトラスター	
2	レッドラスター	
3	グリーンラスター	
4	ブルーラスター	
5	１Dot おき縦しま	表示器のフェーズ調整用
6	クロスハッチ＋変換映像	
7	クロスハッチ	表示器のサイズ・ポジション調整用
8	全チャンネル H Filter：OFF、V Filter：OFF 入力４：３　アンダースキャン	
9	全チャンネル H Filter：ON、V Filter：OFF 入力４：３　アンダースキャン	
A	全チャンネル H Filter：OFF、V Filter：ON 入力４：３　アンダースキャン	
B	全チャンネル H Filter：ON、V Filter：ON 入力４：３　アンダースキャン	
C	全チャンネル H Filter：OFF、V Filter：OFF 入力４：３　オーバースキャン	
D	全チャンネル H Filter：ON、V Filter：OFF 入力４：３　オーバースキャン	
E	全チャンネル H Filter：OFF、V Filter：ON 入力４：３　オーバースキャン	
F	全チャンネル H Filter：ON、V Filter：ON 入力４：３　オーバースキャン	

４．設定方法

１）出力解像度の設定

TIMING スイッチを操作し、出力タイミングと出力画面構成を選択します。

出力するモニタが TV 等のオーバースキャン表示となっている場合、全画面表示が出来無いモニタがあります。

出力縮小表示設定を行う事により、全画面表示が出来ます。

水平解像度の約９４％、垂直の約９４％に縮小します。

２）表示装置の調整

表示装置が、ＰＤＰや液晶プロジェクターの場合、クロックやフェーズ、ポジションといった表示装置側の調整を行う必要があります。

CV-201 は、Test Pattern 出力機能を出力するようになっています。
クロックフェーズの調整時は、Test Pattern の“５”１Dot おき縦しまに設定し、表示装置側の調整を行ってください。

各解像度の H TOTAL は次のようになっています。

- 1024 × 768（ＸＧＡ） 1344 dot
- 1024 × 768（WXGA） 1792 dot
- 1280 × 720（HDTV 720p） 1650 dot
- 1920 ×1080（HDTV 1080i） 2200 dot

サイズ・ポジションの調整時は、Test Pattern の“７”クロスハッチに設定し、表示装置側の調整を行ってください。

なお、表示装置の操作方法に付きましては、表示装置のマニュアルに沿って下さい。

表示装置側の設定が終わりましたら、

Test Pattern スイッチは必ず“０”の通常使用状態にて使用してください。

３）入力チャンネルごとの設定

チャンネルごとに、以下の項目を外部通信により設定し、設定を保存する場合は、

外部通信によりメモリ保存動作を行ってください。

①ブラックアウト表示の設定

②枠色の設定

③フィルターの設定

④入力オーバースキャン／アンダースキャンの設定

① ブラックアウトの設定

使用しないチャンネルが存在する場合等、チャンネル名称に

“ xxxxxxxxxxxx ”または、“ XXXXXXXXXXXX ”

を設定すれば、そのチャンネルはブラックアウトします。詳細は、４）通信コマンド詳細(P.19 参照)

通常使用時

“ xxxxxxxxxxxx ”設定時

② 枠色の設定

64 色の中から選択し、設定してください。

ブリンクのＯＮ／ＯＦＦの設定も出来ます。

③ アンダースキャン／オーバースキャンの設定

４：３オーバースキャン

４：３アンダースキャン

１６：９オーバースキャン

１６：９アンダースキャン

10%のオーバースキャン率です。

5．外部制御

１．外部制御仕様

RS-232C

通信速度　　：　9600 bps
スタートビット：　1 bit
データ長　　：　8 bit
パリティ　　：　none
ストップビット：　1 bit

データ部の使用コード　バイナリー８ビット及びアスキーコード。
　詳細は、２．通信制御について　を参照。

コネクタピンアサイン（コネクタ留めネジはインチピッチ）

D-Sub9Pin（MALE）

1	LOOP1	注
2	TXD（RS-232C）	
3	RXD（RS-232C）	
4	LOOP1	注
5	GND	
6	LOOP1	注
7	LOOP2	注
8	LOOP2	注
9	N．C	

注：LOOP1、LOOP2 は内部でそれぞれ短絡されています。
※：パソコンの RS-232C コネクタと１対１のケーブルで接続します。

２．通信制御について

１）使用コード

バイナリー8bit(1 byte)及びアスキーコード

機能	コマンド	内容
肯定応答	ＡＣＫ 0x06	コマンドが正しく処理された場合に、応答します。
否定応答	ＮＡＫ 0x15	コマンドや設定値に誤りがある場合に応答します。ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。
テキスト開始コード	ＳＴＸ 0x02	コマンドの先頭を示す
テキスト終了コード	ＥＴＸ 0x03	コマンドの終了を示す

２）データフォーマット

STX + CMD１ + CMD２ + MSG Block + ETX

STX	Start of Text Code	1 byte=0x02
CMD1	コマンド No. 上位	1 byte　別途説明
CMD2	コマンド No. 下位	1 byte　別途説明
MSG Block	Message	別途説明
ETX	End of Text Code	1 byte=0x03

３）コマンド一覧表

CMD 上位	CMD 下位	コマンド名	備考
０ｘ５０	０ｘ４Ｅ	ブラックアウト設定	
０ｘ５０	０ｘ４６	枠色設定	
０ｘ５０	０ｘ５３	Over／Under	
０ｘ５０	０ｘ４８	Filter 設定	
０ｘ５０	０ｘ４Ｃ	輝度設定	
０ｘ５０	０ｘ４Ｄ	動作モード設定	出力タイミング・構成設定
０ｘ４Ｄ	０ｘ５７	メモリ保存	ワークを Flash メモリに保存
０ｘ５２	０ｘ５３	状態問い合わせ	
０ｘ５２	０ｘ４Ｄ	動作モード問い合わせ	
０ｘ５０	０ｘ４３	設定初期化	Flash メモリの内容をワークにロードする。
０ｘ５０	０ｘ６９	工場出荷状態に設定初期化	ワークを工場出荷状態にロードする。
０ｘ５２	０ｘ５６	バージョン問い合わせ	ファームウェアバージョン

4）通信コマンド詳細

1）ブラックアウト設定

a）機能

HOST からＣＶに対し、各チャンネルをブラックアウトするときに使用します。

b）電文

基本フォーマット

STX＋0x50＋0x4E＋縦 Ch 番号＋横 Ch 番号＋（設定値×12 文字）＋ETX

設定例）

チャンネルＡ１に“xxxxxxxxxxxx”と設定（Ａ１がブラックアウト）

STX＋0x50＋0x4E+“Ａ”＋“１”＋“ｘ”＋“ｘ”＋“ｘ”＋“ｘ”＋“ｘ”＋“ｘ”＋“ｘ”＋“ｘ”
＋“ｘ”＋“ｘ”＋“ｘ”＋“ｘ”＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
CMD 上位	０ｘ５０	１バイト
CMD 下位	０ｘ４Ｅ	１バイト
縦 ch 番号	“Ａ”～“Ｄ”詳細は、ch 番号と出力画面の関係参照	ASCⅡ１バイト
横 ch 番号	“１”～“５”詳細は、ch 番号と出力画面の関係参照	ASCⅡ１バイト
値	ASCⅡ文字　合計　12 文字分 ※注１	１文字＝ASCⅡ１バイト 合計＝ASCⅡ12 バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

ch 番号と出力画面の関係

Ａ１	Ａ２	Ａ３	Ａ４	Ａ５
Ｂ１	Ｂ２	Ｂ３	Ｂ４	Ｂ５
Ｃ１	Ｃ２	Ｃ３	Ｃ４	Ｃ５
Ｄ１	Ｄ２	Ｄ３	Ｄ４	Ｄ５

c）応答

肯定応答

ＡＣＫ（0x06）

否定応答

ＮＡＫ（0x15）

ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

※注１

使用しないチャンネルが存在する場合等、チャンネル名称に

“xxxxxxxxxxxx”または、“XXXXXXXXXXXX”

を設定すれば、そのチャンネルはブラックアウトします。

通常は、スペース（0x20）を 12 文字分設定してください。

2）枠色設定

a）機能

HOST からＣＶに対し、枠色の設定をするときに使用します。

b）電文

基本フォーマット

STX＋0x50＋0x46＋縦 ch 番号＋横 ch 番号＋R設定値＋G設定値＋B設定値＋BLINK＋ETX

設定例）chＢ２の枠色を赤 100%、BLINK をＯＮの設定

STX＋0x50＋0x46＋“Ｂ”＋“２”＋“３”＋“０”＋“０”＋“１”＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
CMD 上位	０ｘ５０	１バイト
CMD 下位	０ｘ４６	１バイト
縦 ch 番号	“Ａ”～“Ｄ” 詳細は、ch 番号と出力画面の関係参照	ASCⅡ１バイト
横 ch 番号	“１”～“５” 詳細は、ch 番号と出力画面の関係参照	ASCⅡ１バイト
Rの値	Rの枠の色　詳細は下記	１文字＝ASCⅡ１バイト
Gの値	Gの枠の色　詳細は下記	１文字＝ASCⅡ１バイト
Bの値	Bの枠の色　詳細は下記	１文字＝ASCⅡ１バイト
BLINK	“０”：OFF　“１”BLINK	１文字＝ASCⅡ１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

ch 番号と出力画面の関係

Ａ１	Ａ２	Ａ３	Ａ４	Ａ５
Ｂ１	Ｂ２	Ｂ３	Ｂ４	Ｂ５
Ｃ１	Ｃ２	Ｃ３	Ｃ４	Ｃ５
Ｄ１	Ｄ２	Ｄ３	Ｄ４	Ｄ５

値の詳細

設定値	レベル
“０”	０／２５５
“１”	８５／２５５
“２”	１７０／２５５
“３”	２５５／２５５

c）応答

肯定応答

ＡＣＫ（0x06）

否定応答

ＮＡＫ（0x15）

ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

3）Over／Under 設定

a）機能

HOST から CV に対し、Over／Under の画面設定をするときに使用します。

b）電文

基本フォーマット

STX＋0x50＋0x53＋縦 ch 番号＋横 ch 番号＋設定値＋ETX

設定例）chD4 に１６：９　アンダースキャンを設定

STX＋0x50＋0x53＋“Ｄ”＋“４”＋“３”＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
CMD 上位	０ｘ５０	１バイト
CMD 下位	０ｘ５３	１バイト
縦 ch 番号	“Ａ”～“Ｄ” 詳細は、ch 番号と出力画面の関係参照	ASCⅡ１バイト
横 ch 番号	“１”～“５” 詳細は、ch 番号と出力画面の関係参照	ASCⅡ１バイト
値	Over／Under　詳細は下記	１文字＝ASCⅡ１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

ch 番号と出力画面の関係

Ａ１	Ａ２	Ａ３	Ａ４	Ａ５
Ｂ１	Ｂ２	Ｂ３	Ｂ４	Ｂ５
Ｃ１	Ｃ２	Ｃ３	Ｃ４	Ｃ５
Ｄ１	Ｄ２	Ｄ３	Ｄ４	Ｄ５

値の詳細

設定値	画面表示
“０”	４：３　　オーバースキャン
“１”	４：３　　アンダースキャン
“２”	１６：９　オーバースキャン
“３”	１６：９　アンダースキャン

c）応答

肯定応答

ＡＣＫ（0x06）

否定応答

ＮＡＫ（0x15）

ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

4）Filter 設定

a）機能

HOST から CV に対し、フィルタの設定をするときに使用します。
H filter ･･･水平フィルタ
V filter ･･･垂直フィルタ

b）電文

基本フォーマット

STX＋0x50＋0x48＋縦 ch 番号＋横 ch 番号＋設定値＋ETX

設定例）ch D4 に H filter　ON　 V filter　ON を設定

STX＋0x50＋0x48＋“Ｄ”＋“４”＋“１” ＋“１”＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
ＣＭＤ上位	０ｘ５０	１バイト
ＣＭＤ下位	０ｘ４８	１バイト
縦 ch 番号	“Ａ”～“Ｄ” 詳細は、ch 番号と出力画面の関係参照	ASCⅡ１バイト
横 ch 番号	“１”～“５” 詳細は、ch 番号と出力画面の関係参照	ASCⅡ１バイト
Ｈ filter 値	‘０’Ｈ filter ＯＦＦ ‘１’ＯＮ	１文字＝ASCⅡ１バイト
Ｖ filter 値	‘０’Ｖ filter ＯＦＦ ‘１’ＯＮ	１文字＝ASCⅡ１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

ch 番号と出力画面の関係

Ａ１	Ａ２	Ａ３	Ａ４	Ａ５
Ｂ１	Ｂ２	Ｂ３	Ｂ４	Ｂ５
Ｃ１	Ｃ２	Ｃ３	Ｃ４	Ｃ５
Ｄ１	Ｄ２	Ｄ３	Ｄ４	Ｄ５

c）応答

肯定応答
ＡＣＫ（0x06）

否定応答
ＮＡＫ（0x15）

ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

5）輝度設定

a）機能

HOST から CV に対し、モード設定をするときに使用します。
モード設定：出力タイミング・画面分割数設定

b）電文

基本フォーマット

STX＋0x５０＋0x４C＋出力解像度＋画面分割＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
CMD 上位	０ｘ５０	１バイト
CMD 下位	０ｘ４Ｃ	１バイト
ｃｈ１	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ２	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ３	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ４	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ５	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ６	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ７	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ８	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ９	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ１０	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ１１	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ１２	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ１３	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ１４	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ１５	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ１６	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ１７	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ１８	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ１９	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ｃｈ２０	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

ch 番号と出力画面の関係

１	２	３	４	５
６	７	８	９	１０
１１	１２	１３	１４	１５
１６	１７	１８	１９	２０

c）応答

肯定応答

ＡＣＫ（0x06）

否定応答

ＮＡＫ（0x15）

ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

輝度の値の詳細

設定値	輝度
“０”	１００％（通常）
“１”	８０％
“２”	６０％
“３”	４０％

6）モード設定

a）機能

HOST から CV に対し、モード設定をするときに使用します。
モード設定：出力タイミング・画面分割数設定
起動時は、TIMING スイッチの設定で起動します。
このコマンド送信した後は、TIMING スイッチは効きません。

b）電文

基本フォーマット

STX＋0x５０＋0x４D＋出力解像度＋画面分割＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
CMD 上位	０ｘ５０	１バイト
CMD 下位	０ｘ４Ｄ	１バイト
出力解像度	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
画面分割	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

c）応答

肯定応答

ＡＣＫ（0x06）

否定応答

ＮＡＫ（0x15）
ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

出力解像度の値の詳細

設定値	解像度	
“０”	1024×768p	XGA
“１”	1366×768p	WXGA
“２”	1280×720p	HDTV 720p
“３”	1920×1080i	HDTV 1080i

画面分割の値の詳細

出力解像度が“０”ＸＧＡの場合

設定値	画面分割
“０”	３×３
“１”	３×３　※縮小表示
“２”	４×４
“３”	４×４　※縮小表示

出力解像度が“１”～“３”（ＷＸＧＡ、ＨＤＴＶ）の場合

設定値	画面分割
“０”	４×３
“１”	４×３　※縮小表示
“２”	５×４
“３”	５×４　※縮小表示

※　縮小表示は、水平解像度の約９４％、垂直解像度の約９４％に縮小します。

5）メモリ保存

a）機能

HOST から CV に対し、メモリ保存をするときに使用します。

b）電文

基本フォーマット

STX＋0x4D＋0x57＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
CMD 上位	０ｘ４Ｄ	１バイト
CMD 下位	０ｘ５７	１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

c）応答

肯定応答

ＡＣＫ（0x06）

否定応答

ＮＡＫ（0x15）

ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

6）状態問い合わせ

a）機能

HOST から CV に対し、チャンネルの状態を問い合わせるときに使用します。
CV は下記のように設定状態を応答します。
問い合わせコマンドにエラーが有った場合は、異常応答を行います。

b）電文

基本フォーマット

STX＋0x52＋0x53＋縦 ch 番号＋横 ch 番号＋ETX

設定例）chＡ１の状態を問い合わせ

STX＋0x52＋0x53＋“Ａ”＋“１”＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
CMD 上位	０ｘ５２	１バイト
CMD 下位	０ｘ５３	１バイト
縦 ch 番号	“Ａ”～“Ｄ” 詳細は、ch 番号と出力画面の関係参照	ASCⅡ１バイト
横 ch 番号	“１”～“５” 詳細は、ch 番号と出力画面の関係参照	ASCⅡ１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

ch 番号と出力画面の関係

Ａ１	Ａ２	Ａ３	Ａ４	Ａ５
Ｂ１	Ｂ２	Ｂ３	Ｂ４	Ｂ５
Ｃ１	Ｃ２	Ｃ３	Ｃ４	Ｃ５
Ｄ１	Ｄ２	Ｄ３	Ｄ４	Ｄ５

c）応答

基本フォーマット

STX＋縦 ch 番号＋横 ch 番号＋（名称の値　12 バイト）　＋（枠の値　4バイト）
＋（Over/Under の値　1バイト）＋（H filter の値　1バイト）＋（V filter の値　1バイト）
＋（SYNC 無しの値　1 バイト）
＋（PAL の値　1バイト）＋ETX

項目	応答値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	1バイト
縦 ch 番号	“Ａ”～“Ｄ”	ASCII１バイト
横 ch 番号	“１”～“５”	ASCII１バイト
名称値	アルファベット（大小文字）および数字、スペース 合計　12 文字分	１文字＝ASCII１バイト 合計＝ASCII12 バイト
枠Ｒの値	Ｒの枠の色　詳細は　P.17	１文字＝ASCII１バイト
枠Ｇの値	Ｇの枠の色　詳細は　P.17	１文字＝ASCII１バイト
枠Ｂの値	Ｂの枠の色　詳細は　P.17	１文字＝ASCII１バイト
枠 BLINK	“０”: OFF　“１”BLINK	１文字＝ASCII１バイト
Over/Under 値	Over／Under　詳細は　P.18	１文字＝ASCII１バイト
Ｈ filter 値	‘０’Ｈ filter ＯＦＦ　‘１’ＯＮ	１文字＝ASCII１バイト
Ｖ filter 値	‘０’Ｖ filter ＯＦＦ　‘１’ＯＮ	１文字＝ASCII１バイト
SYNC 無しの値	“０”: SYNC 有り　“１”SYNC 無し	１文字＝ASCII１バイト
PAL の値	“０”: NTSC　　“１”PAL	１文字＝ASCII１バイト
輝度の値	“０”～“３”詳細は下記	１文字＝ASCII１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	1バイト

輝度の値の詳細

設定値	輝度
“０”	１００％（通常）
“１”	８０％
“２”	６０％
“３”	４０％

d）異常応答

否定応答

ＮＡＫ（0x15）

ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

7）MODE 問い合わせ

a）機能

HOST から CV に対し、MODE の状態を問い合わせるときに使用します。
CV は下記のように設定状態を応答します。
問い合わせコマンドにエラーが有った場合は、異常応答を行います。

b）電文

基本フォーマット

STX＋0x52＋0x4D＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
CMD 上位	０ｘ５２	１バイト
CMD 下位	０ｘ４Ｄ	１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

c）応答

基本フォーマット

STX＋（出力解像度の値　１バイト）＋（画面分割の値　１バイト）＋ETX

項目	応答値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
出力解像度	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
画面分割	“０”～“３”詳細は下記	ASCII１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

出力解像度の値の詳細

設定値	解像度	
“０”	1024×768p	XGA
“１”	1366×768p	WXGA
“２”	1280×720p	HDTV 720p
“３”	1920×1080i	HDTV 1080i

画面分割の値の詳細

出力解像度が“０”ＸＧＡの場合

設定値	解像度
“０”	３×３
“１”	３×３　※縮小表示
“２”	４×４
“３”	４×４　※縮小表示

出力解像度が“０”以外（ＷＸＧＡ、ＨＤＴＶ）の場合

設定値	解像度
“０”	４×３
“１”	４×３　※縮小表示
“２”	５×４
“３”	５×４　※縮小表示

※　縮小表示は、水平解像度の約９４％、垂直解像度の約９４％に縮小します。

ｄ）異常応答
否定応答
　ＮＡＫ（0x15）

ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

8）設定初期化

ａ）機能

HOST から CV に対し、FLASH メモリの設定値をロードし、
設定を初期化するときに使用します。

ｂ）電文

基本フォーマット

STX＋0x50＋0x43＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
CMD 上位	０ｘ５０	１バイト
CMD 下位	０ｘ４３	１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

c）応答

肯定応答

ＡＣＫ（0x06）

否定応答

ＮＡＫ（0x15）

ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

9）工場設定初期化

a）機能

HOST から CV に対し、工場設定の設定値をロードし、
設定を初期化するときに使用します。

b）電文

基本フォーマット

STX＋0x50＋0x69＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
CMD 上位	０ｘ５０	１バイト
CMD 下位	０ｘ６９	１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

c）応答

肯定応答

ＡＣＫ（0x06）

否定応答

ＮＡＫ（0x15）

ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

１０）バージョン問い合わせ

ａ）機能

HOST から ＣＶに対し、ファームウェアのバージョンを問い合わせるときに使用します。

ｂ）電文

基本フォーマット

STX＋0x52＋0x56＋ETX

項目	設定値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
CMD 上位	０ｘ５２	１バイト
CMD 下位	０ｘ５６	１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

c）応答

基本フォーマット

STX＋‘ＣＶ－２０１　　’＋（整数部の値　１バイト）＋（小数部　１バイト）＋ETX

項目	応答値	Data 長
ＳＴＸ	０ｘ０２	１バイト
製品名	“ＣＶ－２０１　　”	ASCII８バイト
整数部	“０”～“９” “Ａ”～“Ｚ”	ASCII１バイト
小数部	“０”～“９”	ASCII１バイト
ＥＴＸ	０ｘ０３	１バイト

ｄ）異常応答

否定応答

ＮＡＫ（0x15）

ただし、コマンドに<ETX>が含まれない場合は、応答しません。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。
なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

ＴＥＬ
担　当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社
〒９５９－０２１４
新潟県燕市吉田法花堂１９７４－１
ＴＥＬ：０２５６－９３－５０３５
ＦＡＸ：０２５６－９３－５０３８